

地域の未来を考える 『パネルディスカッション』

2部構成で行われた地域づくりフォーラム。町内会ワークショップを踏まえての振り返りと、地域のこれからの課題や意見を共有するため、パネルディスカッションが行われました。参加した約50名も、配られたカードを使い意思表示できるなど、会場が一体となって地域の未来を考える場面もあり、有意義な時間となりました。

町集落支援員 有路 正文さん

同じテーマについて全町内会で話し合えたことに意義があった。このような機会が、地域のこれからの活動にもつながると思う。

堀内富長を元気にする会
会長 富樫 美貴さん

堀内富長を元気にする会とおし、若い世代とのつながりを強め、連携して地域づくりに関わりたい。

町内会長連絡協議会
会長 東海林 孝さん

意見を共有する場として、町の若手職員と一緒に考えられたことは良いことだと思う。もう少し地域の若い人が参加できれば、より良い機会となる。

長沢第3町内会
会長 高橋 権四郎さん

町内会びじょんを具現化し、地域活動とおしてのつながりやこれからの世代にどうつなげていくかが重要。

地域共創コーディネーター
斉藤 友香さん

対話の場を創造し、話し合っていく機会が大切だと感じた。また、舟形町は町と町民との協力体制が素晴らしく、みなさん舟形愛が強いと感じた。

町健康福祉課 山本 知加さん

共通している課題を他の地区とも共有していくことが必要。また、これからは地域のみなさんの力がより大切になると思うので、一緒に考えていきたい。

長沢集学校
校長 甲州 剛さん

人に関心のある方が多く、ワークショップでも地域の良いところがたくさん出てきた。失敗を恐れず、長い目で新たな方法を考えていくことも大切。



参加者の声

パネルディスカッションを全員参加にするため、参加されたみなさんと意見を共有させる場として様々な質問にもカードで答えていただきました。

Q. 少子高齢化を感じますか

ほとんどのの方が感じているとの答えでしたが、「子どもから高齢者までみなさん元気なので、少子高齢化を悪いこととは感じていない」という意見もありました。

Q. これからの困りごと

雪：ワークショップでの意見と同様、ほとんどのの方が困ると答えていましたが、困らないと答えている方もいました。

交通：買い物よりも困らないと答えた方が多くいました。ワークショップでも地域や世代によって違いが生じる項目でもあります。



買い物：世代によって回答が分かれていましたが、全体的に困ると答えた方が多く、ワークショップでの意見と一致する回答となりました。

地域の担い手：半数以上の方が困らないとの回答でした。しかし、課題と捉えている町内会もあり、人材の多い地域とそうでない地域があることが見てとれました。

町では、町民アンケート、町内会ワークショップを町民のみなさんの協力のもと行い、住民の主体の地域づくり推進事業に取り組んできました。これからも、行政だけでは解決できない、様々な地域の課題の解決に向けて地域間連携による「地域運営組織」の必要性を検討していきます。来年度は旧4小学校区の連合町内会でワークショップを行い、みなさんと一緒に考えていきます。

▼問い合わせ先
舟形町まちづくり課企画調整係
☎(32)0104